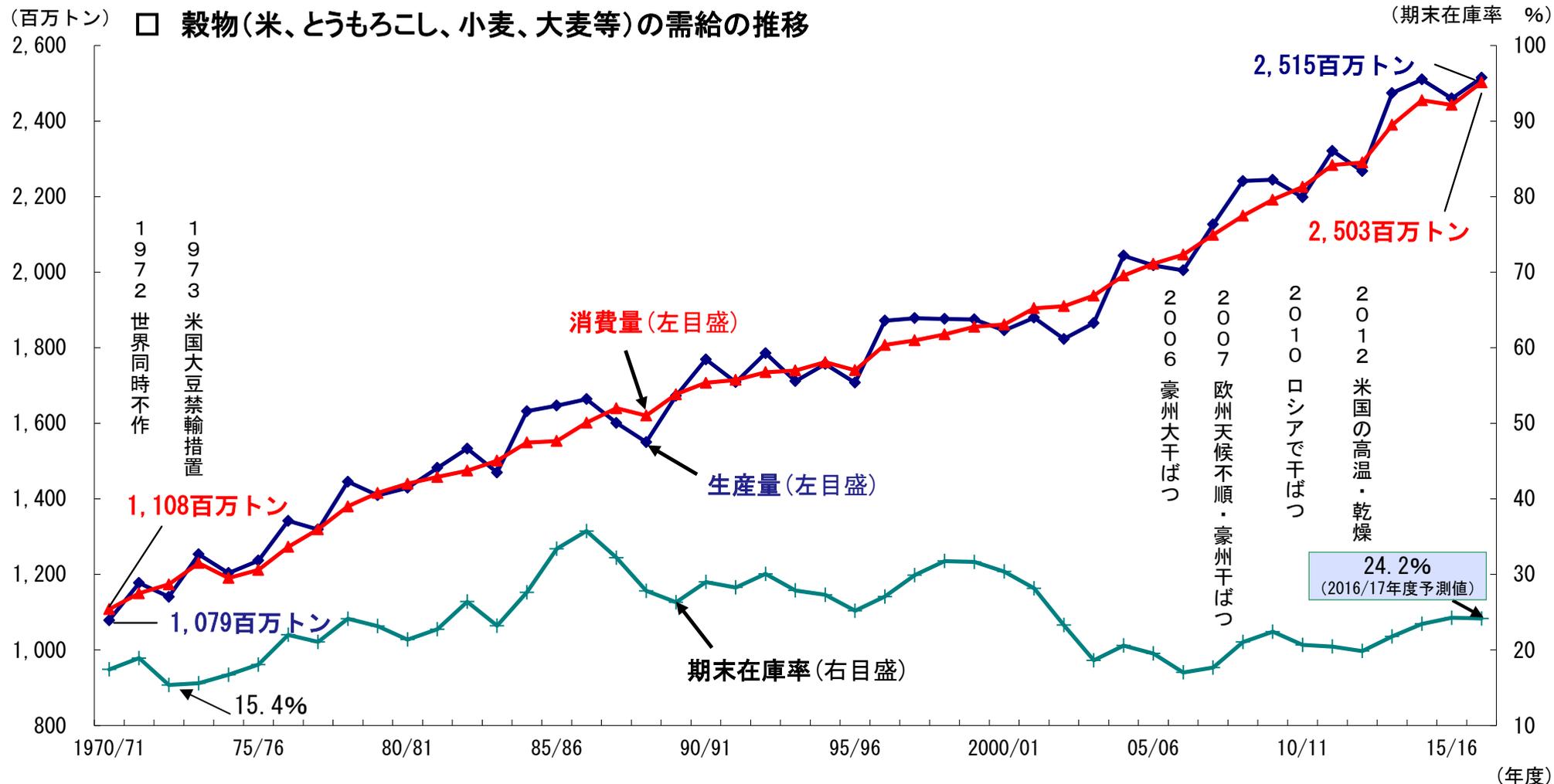


穀物の生産量、消費量、期末在庫率の推移

- 世界の穀物消費量は、途上国の人口増、所得水準の向上等に伴い、1970/71年度に比べ2.3倍の水準に増加している。一方、生産量は、主に単収の伸びにより消費量の増加に対応している。
- 2016/17年度の期末在庫率は、生産量が消費量を上回るものの、24.2%と2015/16年度(24.3%)に比べ低下する見込み。



資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、 「Grain: World Markets and Trade」 (June 2016)、 「PS&D」
(注) なお、「PS&D」については、最新の公表データを使用している。